

各委員の意見要約
(令和7年度進捗状況中間アンケート結果)

【全体に関するもの】

デジタル推進計画の進捗について、計画の見直し（特に予算を伴う計画について）の必要性に言及する意見がある一方で、全体としては進んでいるというご意見をいただいている。
しかし、進捗状況の評価に関しては、以下の課題が指摘されている。

・記載内容の具体性・評価基準の不明確さ

コメントが「検討実施」「想定通り」「検討継続」など、具体的でなく、何を評価すべきか判断が難しい。

「継続」が良いのか悪いのか、評価の基準が分かりにくい。

・分かりづらい用語

協議会以外の方には分かりづらい専門用語が多く、改善が必要。

・評価指標の改善要望

単なる進捗率だけでなく、アクションプラン全体としての年度の目的と達成状況を追記することで、より適切な評価が可能になる。

今後の推進については、計画が実際に機能しているか、市民生活がどのように便利で快適に変わったかという点に焦点を当て、嘉麻市の魅力向上につながることを期待する。

【アクションプランに関するもの】

ヒアリング資料の評価方法としては「0%、20%、50%、80%、100%」の選択肢から選んで進捗率を図っております。そのため、20%を超える場合で 50%に満たないものがあつた場合、50%評価を選択されている場合や、反対に、20%評価を選択している場合があります。

この評価方法はデジタル推進計画の進捗状況管理を効率化するため、選択肢を限定したものです。今回中間ヒアリングを実施した結果、委員の皆様からご質問があつたとおり評価の根拠が分かりづらいものが複数ありました。

つきましては、今回の評価については、上記評価方法に沿って回答されたものとしてご承知いただきますようお願い致します。

No. 1. デジタル技術の啓発

計画の「出前講座等 10 回」に対し、「実施 2 回」で進捗率が「50%」となっている根拠を知りたい。

【回答】

本アクションプランについては、出前講座開催のための体制を整え、広報紙、HP にて周知していた結果応募が 2 件という結果ですが、体制構築と広報・周知を行ってきたことについて、本評価と致しました。

No. 2. マイナンバーカードの普及促進

今後保険証として利用するため今まで以上の普及が見込まれる。

No. 3. マイナンバーカードの利活用促進

コンビニ発行と市役所窓口での手数料の違いを入口等で分かりやすく PR すべき。

評価のしやすさのために、利用活用した人数・件数や、周知活動の具体例を記載してほしい。

【回答】

出前講座で、コンビニ交付の利用を PR することでマイナンバーカードの活用を促しています。また、窓口で住民票などの証明書発行の際の申請書には、コンビニ交付の利用により手数料が 100 円割引になることを記載し、PR をおこなっております。

件数につきましては、マイナンバーカードを利用するサービスとしてワンストップ転入・転出サービス 4 月～9 月末 転入 29 件、転出 50 件となっており、コンビニ交付について 4 月～9 月末 3449 件となっております。

No. 7. 地域へのデジタルツールの普及促進

デジタル格差の是正のため、良い点・悪い点も含めデジタル普及を強く推進すべき。

「計画策定支援の実施で協議中の団体が無い」ことは、DX による促進効果が十分に周知されていない可能性を示唆しており、その状況で「説明会の実施 50%」は高いと感じる。

No. 12. デジタルを利用した子どもや高齢者の見守り検討

「緊急通報装置の完了（100%）」と「仕組みづくりの実施、一部実施（20%）」という進捗率の矛盾について、担当課や対象の違いによるものと思われるが、アクションプラン全体の達成状況を付記して判断しやすくしてほしい。

「緊急通報装置の完了」が、見守り装置の普及を意味するのか、見通しがついたことを意味するのか、完了の定義を明確にしてほしい。

【回答】

「緊急通報装置の完了」については、緊急通報システム事業において、デジタルを利用した人感センサー等による通報するシステムを導入したことをもって完了としております。緊

急通報システム事業については、対象者も限られているため、市全体的な見守り装置の普及というものではありません。

No. 13. 本庁と支所のオンライン化拡充

「進捗中 20%」の主な内容が書類の共有等の仕組みづくりのことなのか、テレビ会議自体は 10 年近く前から実施例があるため、具体的な進捗内容（機能や仕組み）を明確にしてほしい。

【回答】

進捗率については、オンライン化システムの情報収集を実施したことについて 20%としております。書類等のデータについては現在、本庁と支所間で共有しており、共有された書類等を見ながら電話で話をしている状況です。

テレビ電話などの仕組みやウェブ会議の仕組みは既にありシステム検討の参考になると思いますので試験的に利用してみたいと思います。

No. 16. デマンドバスアプリの利用促進

高齢者から、「よく利用するととても助かっている」と聞いている。今後も高齢者が利用しやすいように進めてほしい。

No. 19. 施設等予約申し込みのオンライン化推進

「現状維持」とされている進捗について、以前の報告で導入が必要とされていたオンラインでの入金システムが完了したのかを確認したい。また、ホームページ上のどこで利用できるのかを明確に示してほしい。

【回答】

オンラインでの入金システム導入については、未完了です。嘉麻市社会体育施設予約システムについては、嘉麻市ホームページ上で利用可能となっております。

URL : 「<https://www.city.kama.lg.jp/site/prok/25366.html>」

検索例「嘉麻市 予約システム」等でも表示可能です。



▲予約システム掲載ページ

No. 20. ごみ収集日等の行政情報のオンライン通知拡充

LINE でのごみ収集中止通知が台風時に役立った。このようなデジタル化の利点を市民が多く経験することで、理解が深まることを期待する。

No. 22. オンラインによる市民からの情報収集推進

「仕組みの評価 20%」に対してコメントの記載がないため、枠組みやスケジュール感など、

何らかの記載をすることで判断しやすくなる。

【回答】

令和 6 年度末で休止したお困りごとプラットフォームについて、庁内での検証を行い、人的リソースの不足等運用面での課題があることを確認したため、これを「仕組みの評価」としまして本評価と致しました。

No. 27. デジタルによる地図情報の積極的な公開拡充

当初「予算計上」とされていたが「予算計上を行っていないため」という結果について、仕事を怠ったと誤解されかねないため、財政上の理由など予算計上ができなかった具体的な理由を記載すべき。

【回答】

令和 6 年度は統合型・公開型 GIS の検討を進めていく中で、現時点での各課の GIS の運用状況の共有までしか行えず、予算計上まで行きついていませんでした。令和 7 年度は、協議中ではありますが、現行のシステムをバージョンアップして公開型 GIS として利用することが可能かどうか検討しております。

No. 29. 農林振興に関する行政情報のデジタル化推進

「タブレットによる利用状況調査 100%」となっているが、実際はタブレットの不具合で紙ベースの調査となり、目標を達成できていない（形骸化している）可能性がある。

【回答】

突発的な不具合により機器が利用できないこととなってしまいましたがタブレットを利用した調査を行うための仕組みを構築できたことをもって本評価と致しました。コメント欄には、「農地利用最適化推進委員へタブレットを配布し利用状況調査時に活用した。」と記載しておりましたので、「仕組みを構築した」との表現にコメントを修正致します。

No. 30. DX を推進する市内事業者の活動を支援

前年度のアンケート結果に基づき、特に DX 推進が未着手・停滞している小規模事業者への具体的な支援を速やかに実施することが急務である。

No. 34. 職員の情報リテラシー向上

情報セキュリティに関する犯罪が増加しているため、重要な研修の確実な実施をお願いしたい。